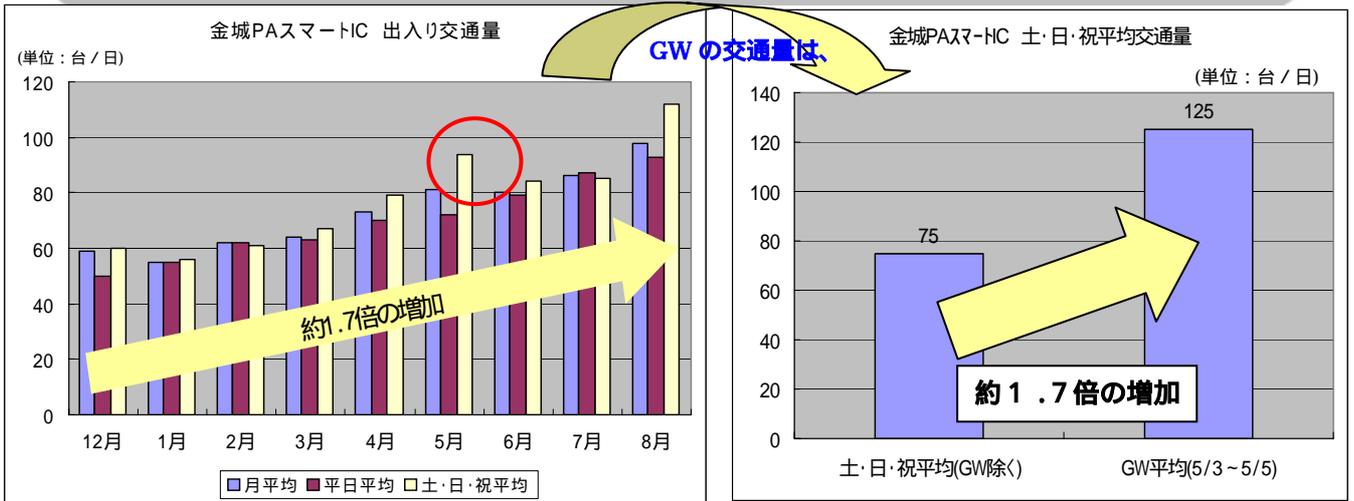


浜田自動車道 金城PAスマートIC社会実験 中間報告

1. 利用交通

金城PAスマートIC 出入交通量 (H16.12.19~H17.8.31)

金城PAスマートICの利用台数は増加傾向にあり、8月(平均)は昨年12月(平均)の約1.7倍の**98台/日**が利用。
GWの平均では、全期間の土・日・祝平均(GW除く)に比べて約1.7倍の**125台/日**が利用。
社会実験中の最大交通量は、8月13日(土)の**144台/日**。



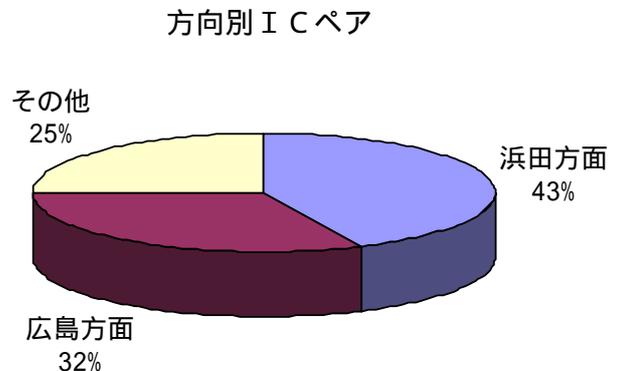
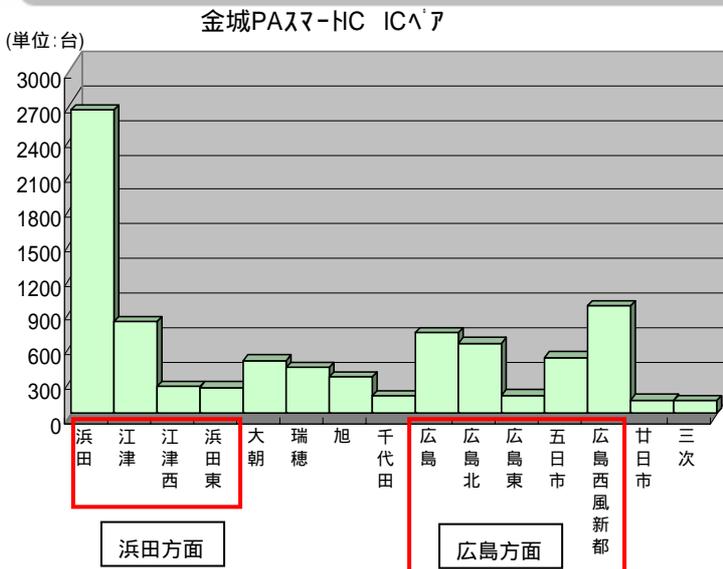
(単位: 台/日)

	全体平均	12月平均	1月平均	2月平均	3月平均	4月平均	5月平均	6月平均	7月平均	8月平均	全交通量
全体	74	59	55	62	64	73	81	80	86	98	18,842
平日	72	50	55	62	63	70	72	79	87	93	
土・日・祝	78	60	56	61	67	79	94	84	85	112	

注)12/18 は実験初日のため、2/1・2/2 は雪による本線通行止めのため平均から除外した。

金城PAスマートIC 出口ICペア(H16.12.19~H17.8.31 累計)

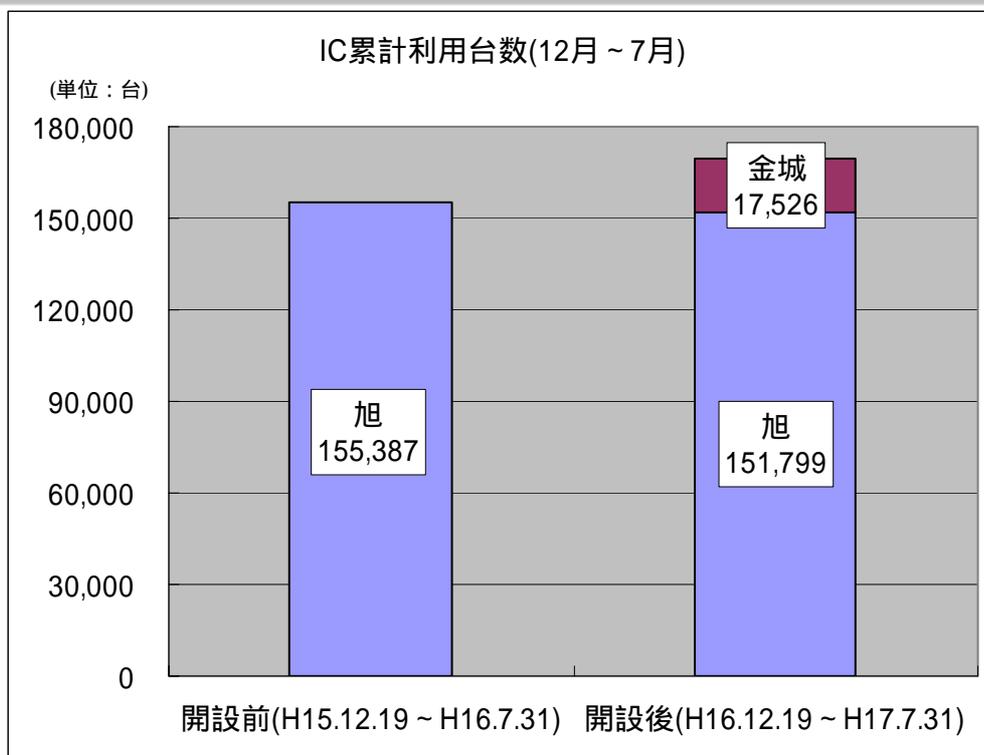
出口ICペアを見ると、浜田方面・広島方面からの利用が多い。



データは、累計100台以上のインターチェンジのみとしています。

IC累計利用台数(12月～7月)

隣接する旭 IC との累計利用台数を見ると、旭 IC は前年同期(12月～7月)に対し横ばいであるため、金城 PA スマート IC 利用分が純増している。



注)2/1・2/2 は雪による本線通行止めのため累計利用台数から除外した。

2. 利用状況

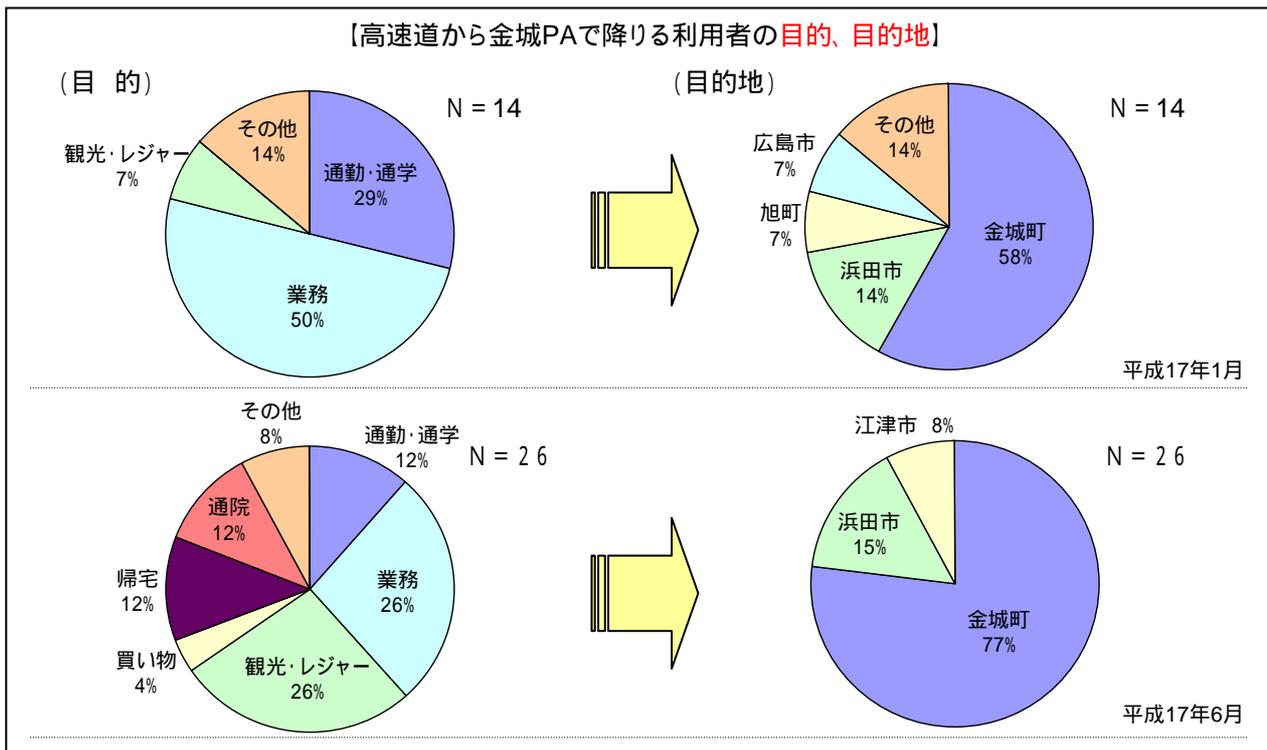
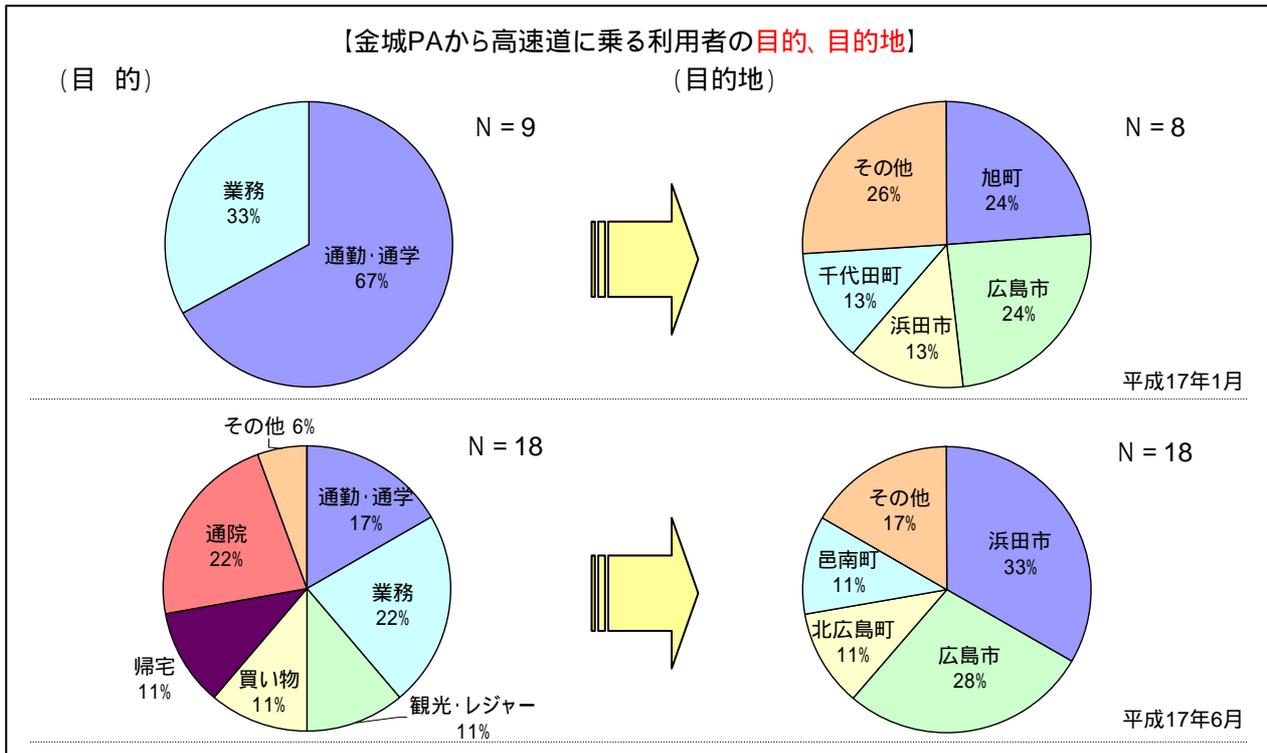
金城PA利用者アンケート調査

実施日：平成17年1月18日(火) (回答数23票), 平成17年6月26日(日)・29日(水) (回答数44票)

利用者の目的地及び目的

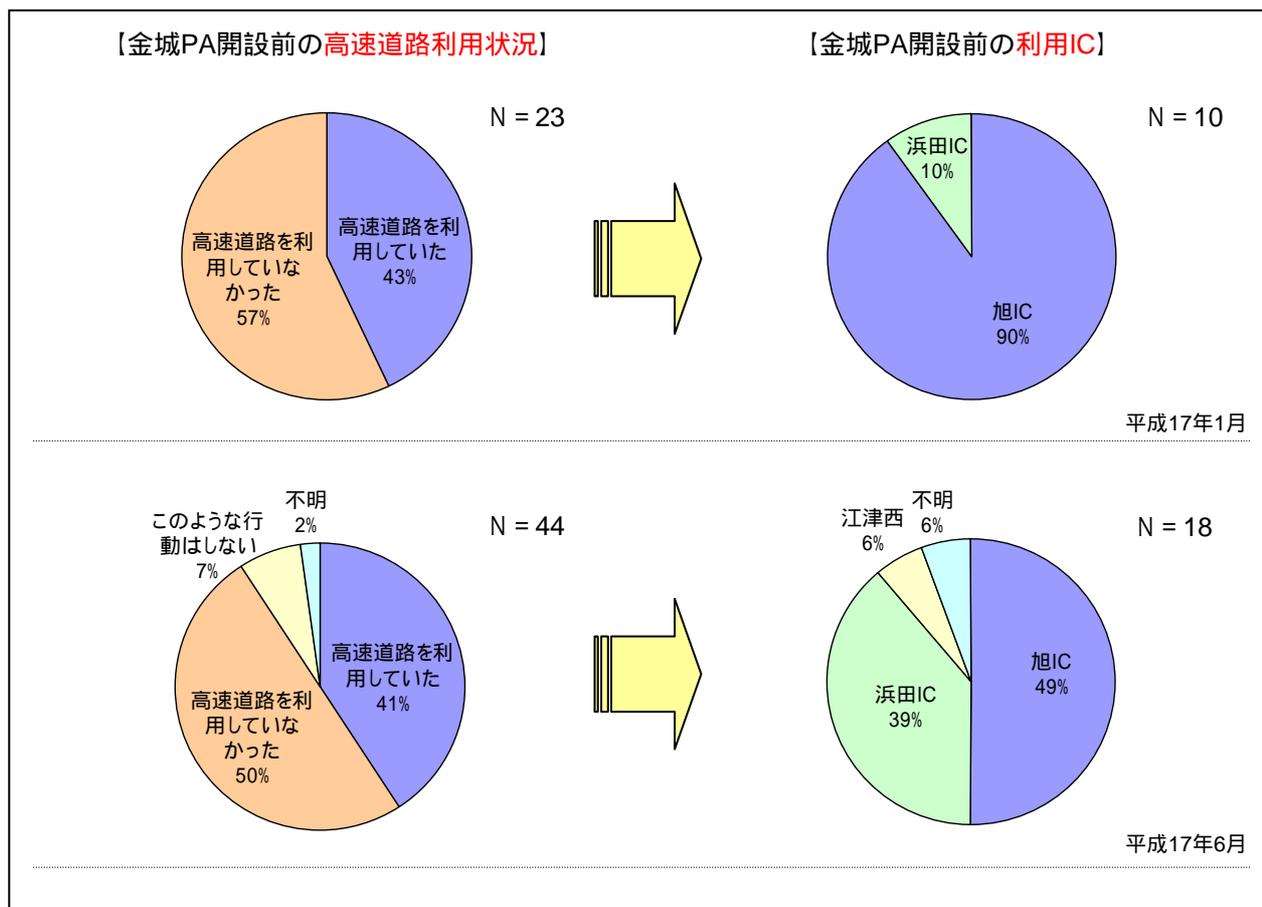
金城PAスマートICを入口とした場合の目的は、通勤・通学、業務が多く、通院、買い物等にも利用されている。また、出口とした場合の目的では、通勤・通学、業務、観光・レジャーが多くを占めている。

目的地として多いのは、浜田市、広島市と金城町になっている。



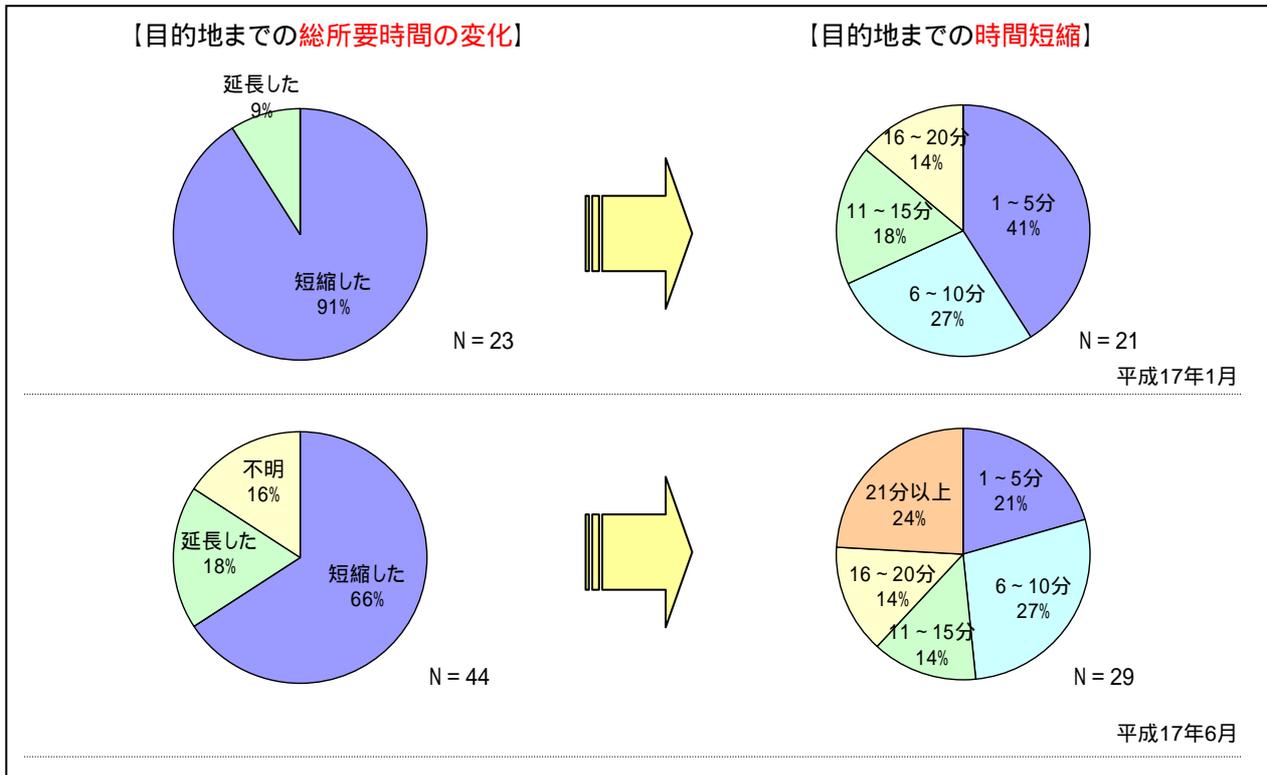
スマートICによる高速道路利用の変化

社会実験前の高速道路利用状況を見ると、1月時点、6月時点の両方において、高速道路を利用していなかった人が過半数を占めており、高速道路利用が促進されている。従来のICからの転換の内訳をみると、旭IC、浜田ICからの転換が多い。



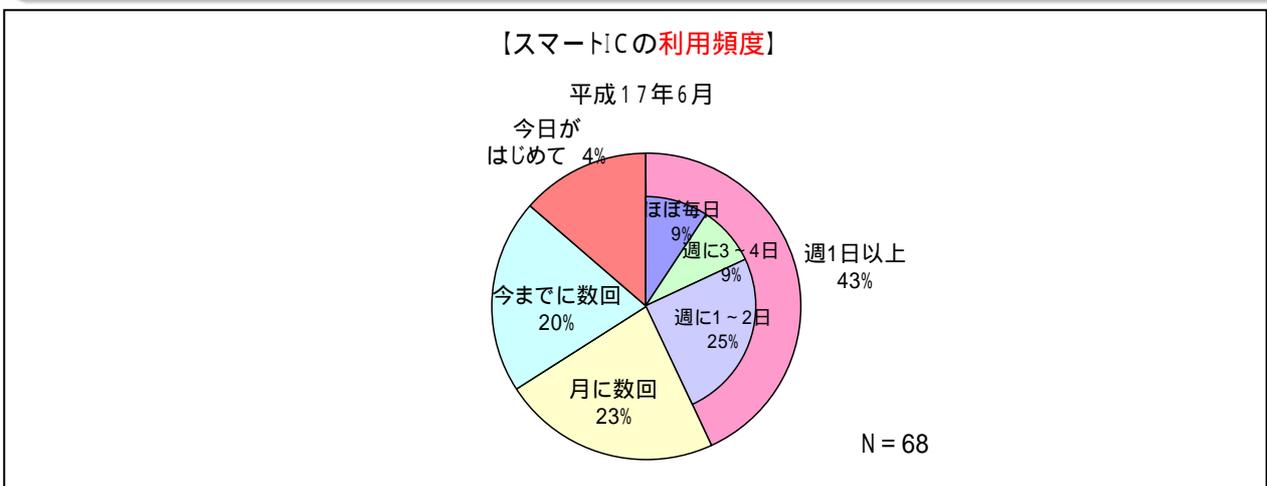
時間短縮効果

金城PAスマートICを利用することで、利用者の概ね7割以上が時間短縮効果があったと回答している。
 利用者の目的地までの時間短縮の平均は、1月は10分、6月は18分となっている。



利用頻度

金城PAスマートICの利用頻度は、週に1日以上利用している利用者が約4割を占めている。

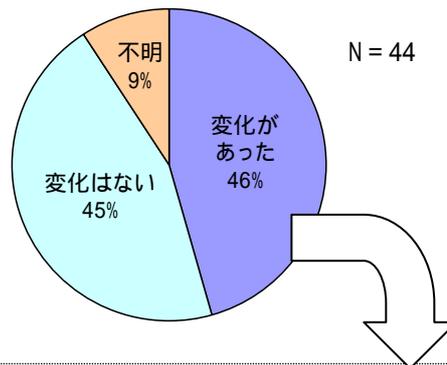


行動範囲の拡大

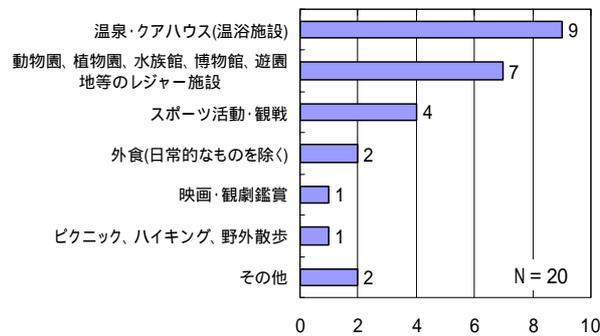
スマートICの開設により、46%の人がレジャー活動を変化させており、温泉・クアハウスへの来訪が変化している。

【スマートICによるレジャー活動の変化】

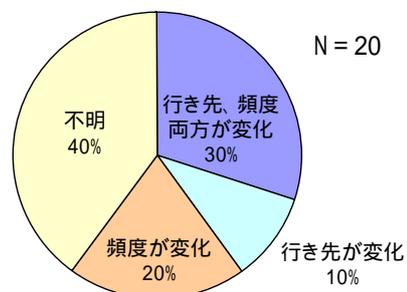
平成17年6月



(変化したレジャー活動内容)



(行き先・頻度の変化)



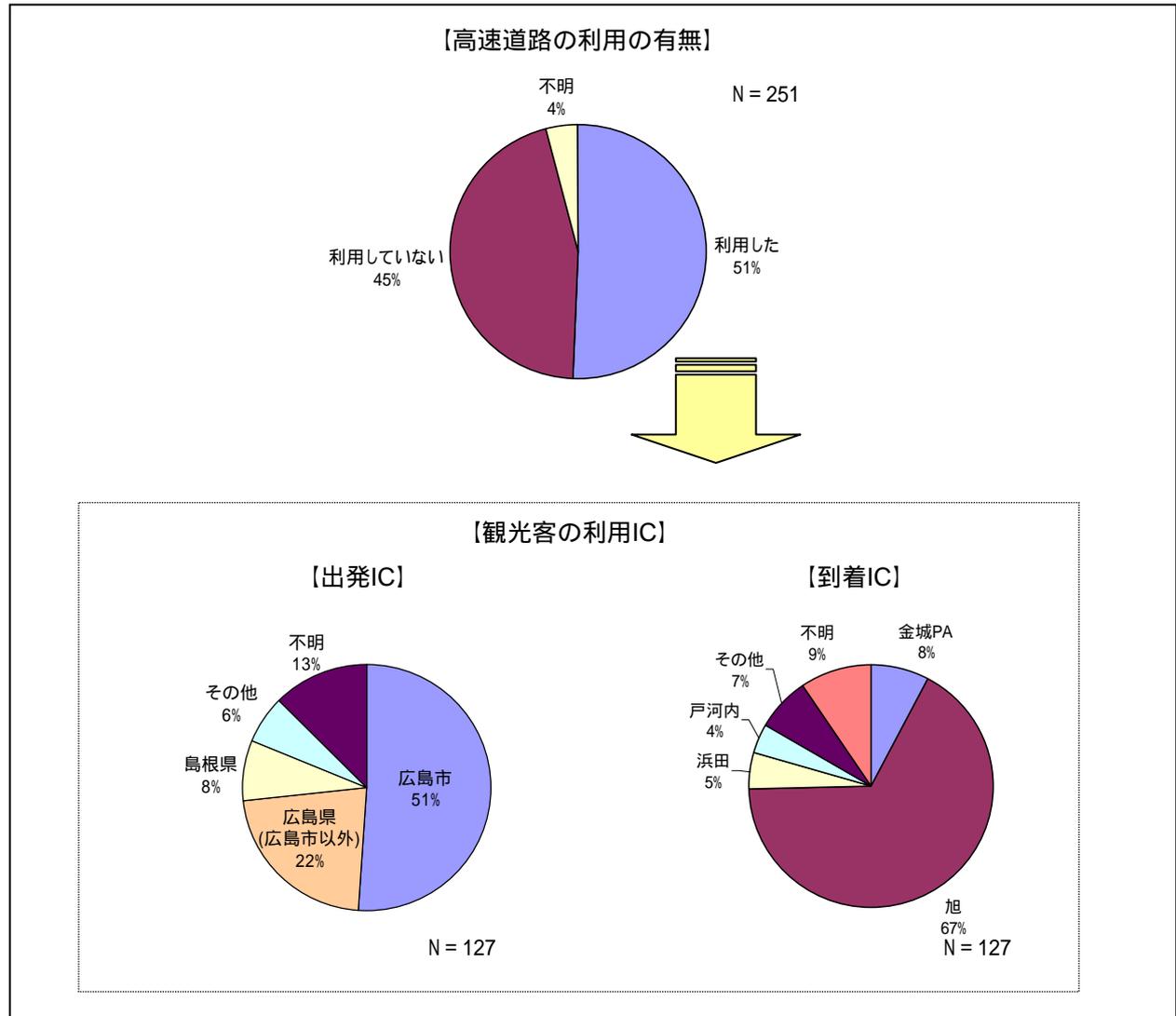
3. 主要観光地におけるヒアリング調査

主要観光施設利用者ヒアリング調査 実施日：平成17年5月3日(祝)、4日(祝) 回答数255票

実施施設： 美又温泉、 きんたの里、 金城ウェスタンライディングパーク、 金城カントリークラブ

観光施設までの高速道路利用

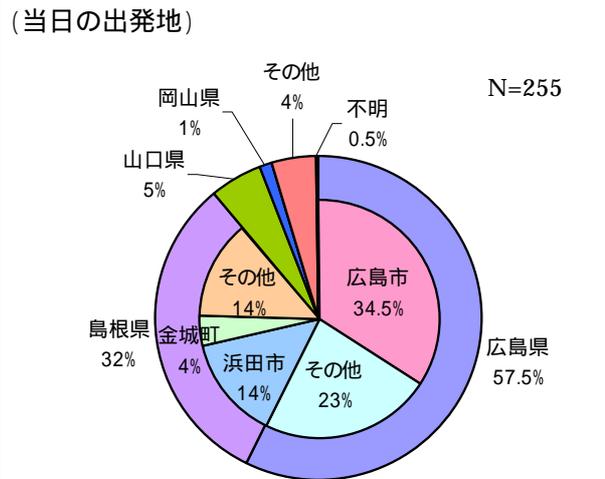
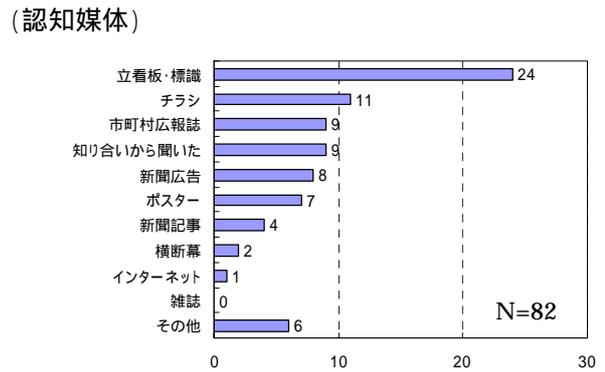
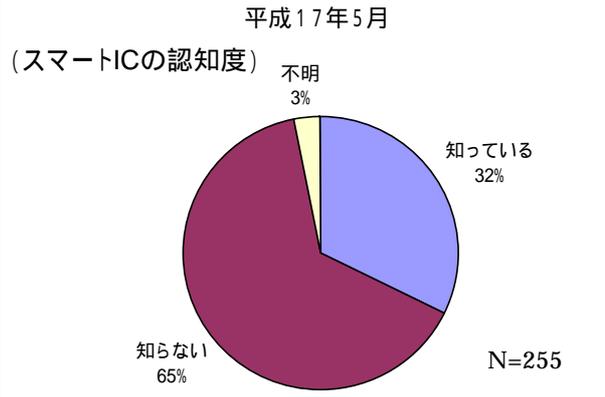
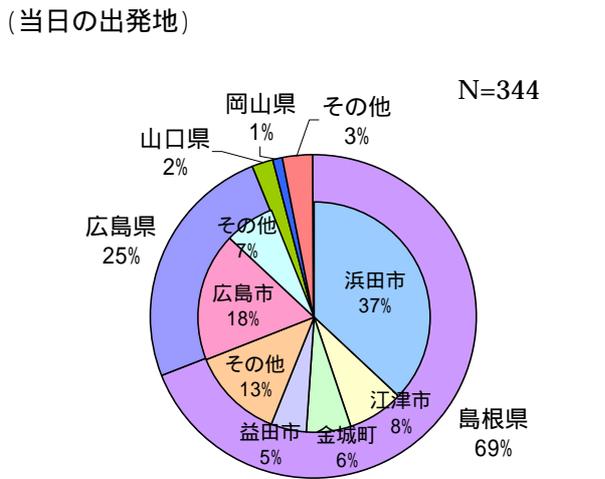
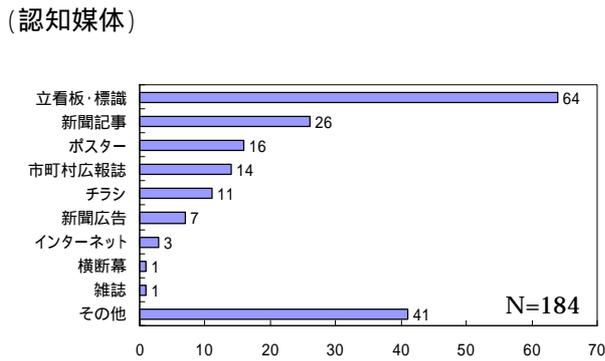
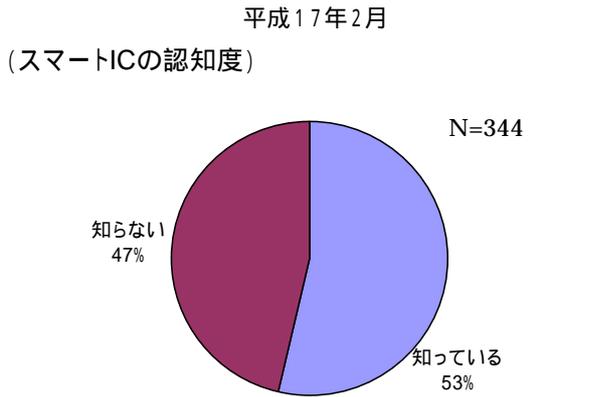
観光施設への移動は51%が高速道路を利用しており、広島市内からの利用が多い。到着ICとしては、大半が旭ICを利用しており、金城PAの利用は8%となっている。



金城PAスマートICの認知度

金城PAスマートICの認知度は約3割～5割となっている。
認知手段としては、立看板・標識が多くなっている。

【スマートICの認知度と認知手段】

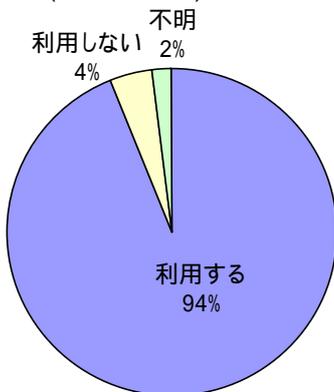


4. 今後の金城PAスマートICの利用動向について

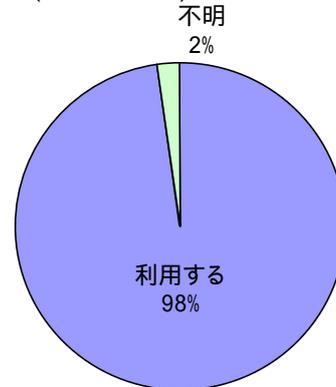
スマートIC利用者では、2月・6月の調査とも、90%以上がこれからも利用したいと回答している。
観光施設利用者へのヒアリング調査では、約4割が「利用したい」、「今後ETCを付けたら利用する」と回答している。

金城PA利用者アンケート調査

実施日：平成17年2月17日(木)・20日(日)
(回答数50票)

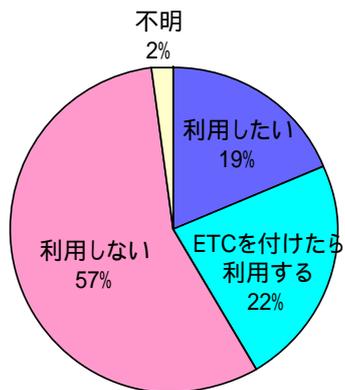


実施日：平成17年6月26日(日)・29日(水)
(回答数44票)

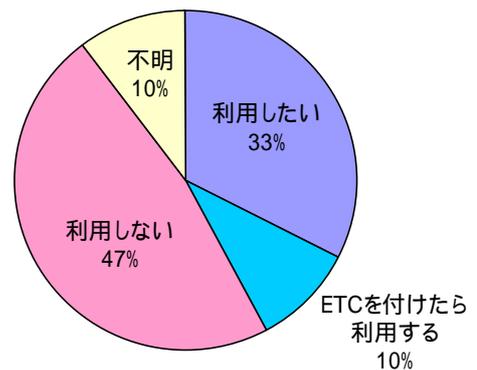


主要観光施設利用者ヒアリング調査

実施日：平成17年2月11～12日 (回答数316票)



実施日：平成17年5月3～4日 (回答数255票)



5. 救急車両の利用状況について

救急車両の対応

救急車両の出動において、金城PAスマートICが計39回利用されている
(平成16年12月～8月の9ヶ月の実績)

スマートICを使うメリット

時間短縮は数分であるが、カーブが少なく、路面状況が良い高速道路を利用することにより、搬送患者への負担が低減出来ることが、利用メリットとなっている

金城PAスマートICを利用した
救急車両の出動実績

	浜田医療センター	その他 (江津済生病院・邑智病院)	計
平成16年12月	2	0	2
平成17年1月	5	1	6
2月	6	0	6
3月	4	1	5
4月	6	0	6
5月	1	1	2
6月	3	0	3
7月	5	0	5
8月	4	0	4
計	36	3	39

